

## 23 オオヨシゴイ

(ペリカン目)

兵庫県ランク:B

*Ixobrychus eurhythmus*

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:CR(絶滅危惧 I A類)

### 種の概要

北海道、本州中・北部では夏鳥、本州南西部、四国、九州では冬鳥とされるが、鳥取県では繁殖記録がある。兵庫県では主に5月と9-10月に記録がある。ヨシ原や草原に生息し、小魚類やカエル類、エビ類などを捕食する。

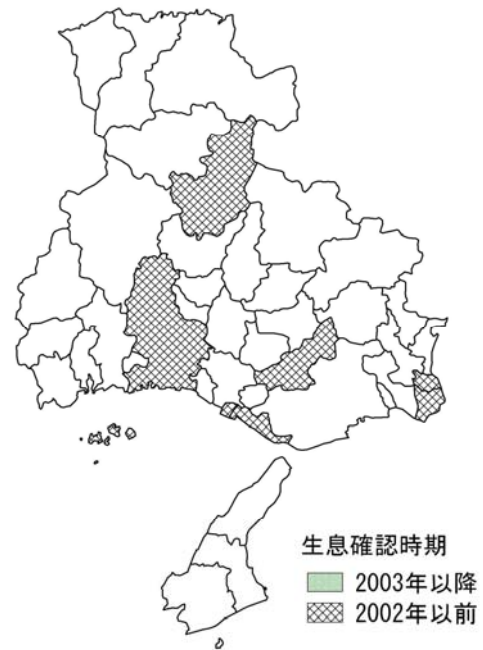
写真なし

### 国内分布

北海道、本州北・中部、佐渡、隠岐、本州南西部、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、男女群島、琉球諸島、南大東島

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

(姫路市)、(尼崎市)、(明石市)、(伊丹市)、(三木市)、(朝来市)、(播磨町)



### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

### 県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクに変更。

県内で公にされている記録は少ない。文献上は、1932年10月明石市土山が最初で、1992年5月の三木市細川町脇川での記録が最後となっている。観察が難しいこともあり、記録個体数は極めて少ない。

### 保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原、湿地やため池を必要とするため、それらの環境の保全が必要。また、減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。